



20坂建都第351号

平成20年10月27日

国土交通省道路局長 様

坂城町長 中 沢 一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

貴職におかれましては、日頃から道路行政に対するご理解、ご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 坂城町

上信越自動車道、長野新幹線が整備され、国道18号上田・坂城バイパス及び力石バイパスの整備も進められており、都市計画決定している坂城・更埴バイパスの鼠橋以北の早期事業化を要望いたします。

坂城町は上田広域、長野広域、両地域の結節点に位置し、人口は16500人であるが、町内には公・私立ともに病院はなく緊急時の地域医療は上田市、千曲市、長野市の病院に依存しております。

この道路が整備されることにより、テクノの町坂城の産業振興はもとより、広域圏内各地域、各医療施設への時間短縮と安定した交通手段が確保され、町民の生活に豊かさをもたらします。さらに効率的な行政運営や各地域の特色ある地域づくりが有効に機能すると考えます。

国の財政再建計画と併せ、公共事業（道路整備）のあり方が議論されていることは承知していますが、鼠橋以北が延伸されると、そこには小網地区があり、交通網の整備、車社会における住民の生活圏、行動範囲の拡大により、千曲川河川敷を利用した36ホールのマレットゴルフ場を核とした地域づくり活性化が進むことが期待されると思います。またバイパスの建設促進にあわせ主要地方道坂城インター線の先線が接続事業化になれば、坂城町全体が一体化されまさに本町の産業構造が大きく変わるものと、その実現を期待するものです。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー１ 地域の現状と抱える課題

○現状

坂城町は、長野・上田両地域の結節点としての立地条件を備え高速交通社会の到来と交通網の整備、車社会における住民の生活圏・行動範囲の拡大により、今後も土地利用の高度化や宅地化が進むことが予想されます。

町内環状幹線道路については、交通量の増加による渋滞などの解消を図るため、国道バイパス、県道を含めた各種道路を効果的に連結させた整備を引き続き進めていく必要があります。

また、集落を結ぶ１級町道は基幹道路であり、災害時における緊急車両の交通ルートの確保としても整備がひつようであります。身近な生活道路については、利便性とともに緊急車両の通行が可能な幅員による整備が望まれています。また、その維持管理については、住民と行政が協働で行い、それぞれ地域性を活かした親しみのある快適な道路づくりを推進していく必要があります。

○課題

(１) 国道１８号上田・篠ノ井バイパスの建設促進

国道１８号バイパスの早期建設に向けた運動を「坂城町国道バイパス、県道整備促進規制同盟会」を始め、関係市と協力しながら実施するとともに、鼠橋から長野上田線力石バイパスまでの早期事業化に向けた運動を強力に進めます。

(２) 坂城インター線先線の建設促進

国道１８号バイパスの推進に合わせ、町内の環状道路の一環となる坂城インターチェンジから千曲川を経て長野上田線を結ぶ道路の建設促進を図ります。

(３) 町内環状道路の整備

町内の国道、県道、都市計画道路などの主要基幹道路を環状道路と位置付け、広域的利便と住民の利便を考慮し、整備を推進します。

(４) 都市計画道路の整備及び見直しの検討

町の基幹道路である都市計画道路の整備を促進するとともに、実状にあった見直しについても検討を進めます。

(５) 生活道路の整備

住民生活に密着した安全で快適な道路づくりを推進するため、緑化や安全性に配慮し、歩道を含め生活道路の整備に努めます。また災害時等における緊急車両が通行可能な道路幅員の確保のためにも、生活道路の整備に努めます。

(６) 維持管理の充実

道路などの施設の有効利用を図るため、適切な維持管理を充実します。

また、住民との協働による環境整備を進め、親しみのある道づくりを推進します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2 地域の目指すべき将来像

長野県 坂城町

坂城町における主要な交通網としては、上信越自動車道、長野新幹線、しなの鉄道があり、その他主要な幹線道路のつては国道18号が南北方向に走っており、それを補完する形で、主要地方道、一般県道が配置されています。

道路交通量の増大と現状での交通容量不足から、国道18号においては慢性的な交通渋滞が発生するなどの問題が生じています。

そのため、これらの問題や今後増加が予想される交通需要を円滑に処理するための交通体系の整備が必要です。道路網においては、道路の役割分担を明確にした道路網の再構築を進め、区域内の国道、県道、都市計画道路などを効果的に連結した環状道路の整備など、中心市街地の混雑緩和、本区域と周辺市町村との連絡性の向上、及び区域内の各地域拠点の発展を促す道路網の形成を進め、都市づくりの実現を図ります。

その他公共交通機関については、デクノさかき駅及び坂城駅周辺の環境整備、区域外との連携機能も踏まえた循環バスなどを柔軟に組み合わせた交通体系の検討などにより町の活性化と利便性の向上を図ります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④
長野県 坂城町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	坂城町においては上信越自動車道、新幹線の大型プロジェクト建設に伴い発生する、トンネル残土等の有効利用として、甕る土地の創設の観点から約40万㎡の残土を町内窪地等に埋め立て、工業団地25ヘクタール造成分譲、3団地約80区画の宅地造成分譲、福祉施設（明照会）、ふれあいセンター、南条保育園用地、県立坂城高校の第二グラウンド、等の活気あるまちづくりを進めてまいりました。 高速道路建設時の需用と供給が合致いたしまして地域活力の向上という点では、代表的な事例であります。	高速道路や主要幹線道路整備は地方と地方を結ぶ重要な事業である一方で、残土活用によって、沿線自治体にかかわる効果は大きなものがあり、わが坂城町におきましても、産業構造が大きく変わった面で代表的事例であります。今後におきましても、上田・坂城国道バイパス以北の早期事業化により、町の活性化に期待いたします。	